

やすらぎ

平成
28年春号

Vol.152

発行■社会福祉法人函館厚生院 養護老人ホーム永楽荘(外部サービス利用型指定特定施設含む)
デイサービスセンター永楽荘・ショートステイ永楽荘
〒042-0955 函館市高丘町3-1 tel 0138-57-1366(代) fax 0138-57-1338
発行人■石津 俊之 ホームページアドレス■<http://eiraku.koseiin.or.jp>



全体懇談会

永楽荘では、月に1度、ご利用者様との懇談会を開催しております。ご利用者様からの要望や質問にお答えする他、日常生活に関わる行事のお知らせなどを発信しております。



ごあいさつ

養護老人ホーム永楽荘
介護係長 工藤 希幸

介護係長をさせていただいております工藤希幸(くどうまれゆき)と申します。私は介護の仕事に携わって20年、永楽荘に配属となり5年が経過しようとしています。

介護はやればやるほど奥の深さを知り、更なる探求と挑戦する心が沸き起こる仕事です。それ故にやりがいもあり、自分自身を高めていく事ができると思っています。また、施設ではチームワークが重要であり職員同士の連携は無くてはならないものであります。

現在、永楽荘のホーム部門では32名の介護職員が働いており、男性9名、女性23名が勤務しています。今年成人式を迎える職員もいれば、間もなく定年を迎える職員もいますし、大人しい性格もあれば明朗活発な職員もいて個性豊かな職場です。皆が毎日、それぞれの役割を果たし仕事に励んでいます。今年から、いろいろな病院などで行われているように、永楽荘でも全職員の顔写真と氏名を施設内に掲示することにしました。これまで以上にご利用者様、ご家族様、地域の皆様との距離を縮め信頼関係の構築に努めていきたいと思っています。しかしながら、私も含めまだまだ未熟で至らない点が多々ありますのでこれからもご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

9月

敬老祝賀会

敬老の日を皆でお祝いしました。余興には職員による津軽三味線を披露しました。



9月

趣味の作品展見学

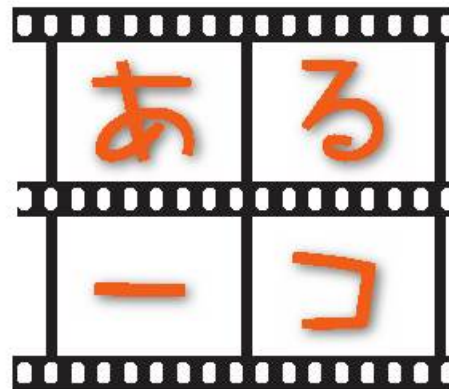
ご利用者様がクラブ活動などで作成した様々な作品が市役所に展示されました。



10月
11月

紅葉ドライブ

今年は恵山までのドライブと見晴公園内の散策と2班に分かれて行きました。木々の鮮やかな色がとても綺麗でした。



養老老人

12月

クリスマスファンタジー見学

今年は12月7日と10日に見学に行きました。車内から眺めるクリスマスツリーに感動しました。



上を向いて～
歩こ～♪

12月 年越会

今年も無事に年を越す事ができました。職員による余興では鍵盤ハーモニカやハンドベルの生演奏に合わせて歌を唄いました。来年も良い年でありますように。



10月

1、2階ふれあい親睦会

(ご家族招待行事)

今年のご利用者様の日常の様子を写真に撮り展示しました。その写真をご家族様にお渡ししたところとても好評でした。



10月

2階フロア寿司会

本格的なお寿司を出前して食べました。



お寿司は最高です。

日

の

マ



ホーム



11月

3階ふれあい親睦会 (ご家族招待行事)

今年の余興はご利用者様、ご家族様、職員全員参加型の対決ゲームでした。日常生活の写真展示も好評でした。



12月

クリスマスプレゼント贈呈

今年も永楽荘にサンタクロースがプレゼントを持ってやってきました。メリークリスマス!



トナカイも写真に写して〜♪

施設内職員勉強会

介護技術講習会



ご利用者様に安心して施設生活を送って頂くためにも介護技術の向上は欠かせません。今年に入職3年未満の職員を対象に、移乗介助や食事介助についての講習会を開催しました。

ご利用者様一人一人のニーズに答えていくためにも介護技術の基礎を学びなおし、ご利用者様が笑顔で安心して生活できるよう努めていきたいと思っております。



倫理勉強会



日々の仕事の中で、ご利用者様への言葉遣いについて、職員一人一人が振り返り、見直すことで、相手の気持ちを考えられる「丁寧な対応」を継続して実行していけるよう、全職員参加のもと毎年開催しています。

これからも、ご利用者様が快適に生活して頂けるよう、職員一丸となって継続して取り組んでいきたいと思っております。

強会の様子



身体拘束廃止勉強会



今年は参加職員に実際に身体拘束の実例を体験してもらい、身体拘束が与える悪影響について考えてみました。ベッド柵を両方に設置するとどんな気持ちになるか、両手を使えないようにした時どのような弊害が生じるかなど、ご利用者様の立場に立って考えました。

今後、私達職員はご利用者様の一人一人の状況に合わせて安心、安全なケアに努めていきたいと思えます。

救急蘇生勉強会



救急蘇生勉強会は年2回永楽荘全職員対象に開催しています。当日はモデルに人形を使用し心肺蘇生の実技を行いました。更にAEDの使用方法や出血時の対応方法を学びました。このように私達はお利用者様の急変時に備え、全職員が一丸となって対応していきたいと思えます。



ショートステイ 永楽荘

ご家族様の急なご用事で、ご不在やご多忙になる場合や、将来的な事を考え試験的なご利用をお考えの方など、あらゆる用途にご利用いただけます。もちろん1泊からでも可能です。

◎全室個室でお待ちしております。

- 居室は全て個室！テレビ、冷蔵庫、洗面台、電話を設置しています。



◎多種多様！色々なレクリエーションを実施!!

- 体を動かさずレクリエーションや懐かしいメロディーに合わせ、カラオケを楽しんだりと毎日いろいろな活動を実施しております。集団でのレクリエーション以外に、個人の趣向に合わせた活動をご用意しております。



集団レクリエーション(牛乳パック遊び)



カラオケ



書道教室

◎色々な合った行事へ参加しよう！

- さまざまな行事をご用意しております。



紅葉ドライブ



上野町会港祭り



ふれあい親睦会



■利用料金

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
基本料金(1日)	438円	539円	599円	666円	734円	801円	866円
サービス提供体制強化加算(Iイ)				18円			
送迎(片道)				184円			
居室費				840円			
食費	朝食：380円 昼食：500円 夕食：500円 (美食分のみ頂きます)						
介護職員処遇改善加算(I)	居室費・食費を除いた1ヶ月間のサービス料金の合計に5.9%をかけた料金が加わります						

※世帯の収入により料金が減額される場合や、介護保険負担割合証に応じ利用者の自己負担額が変わる場合もありますので、詳しくは永楽荘ショートステイ担当相談員迄ご相談ください。

デイサービスセンター永楽荘

職員紹介



石津



関



伊藤



七尾



齋藤



石井



立花



湊



中澤



小野寺



佐々木



長島



青木

デイサービスセンター永楽荘は、全職員13名で、「運動や訓練」・「入浴」・「レクリエーション」・「マッサージ」等のサービスを行なっております。

また、季節に合わせた行事も豊富にご用意し、和気あいあいと明るく楽しい雰囲気の中でサービスを提供させて頂いております。

これからも、ご利用者の皆様がお元気で在宅での生活を一日でも長くお過ごし頂けるよう、職員一丸となって頑張っていきたいと思っております。

よろしくお願い致します。

職員一同

下期行事の様子です!!



9月に開催された恒例の「敬老会！」

写真の赤富士は、余暇時間にご利用者の皆様が協力して作成したちぎり絵です。余興では、ご利用者様と職員と一緒に「阿波踊りや花笠音頭」を踊りました。さて、来年は何を行うのか、お楽しみに～!



10月は「紅葉ドライブ」に行きました。

今回のドライブコースは、函館牛乳方面から旭岡公園、トラピストにあるあじさい公園と様々な場所へ行きました。また来年もみんなで一緒に行きましょう☆



年に3回行っている「模擬店行事!!」

11月の模擬店では、「パンケーキ」を作りました。皆様大絶賛でした☆中々自宅で作る事のない物をご利用者様と職員と一緒に作ることで、気分転換や自宅で料理を行う意欲の向上に繋がっていると思います。模擬店のメニューは、皆様からご意見を募集して楽しく行なっています☆



12月は恒例の「年越し会!!」

この鶴と亀の垂れ幕は、余暇時間にご利用者の皆様が協力して作成したちぎり絵です。とても見事な出来栄です。年越し会は、ご利用者様と職員が今年1年の労をねぎらい、来年も良い年でありますようにという気持ちを込めて行っています。今年の余興は、職員による劇「浦島太郎」をお楽しみ頂きました☆



INFORMATION

永楽荘からのお知らせ

駐車場を増設しました。

函館百楽園と永楽荘
の間に駐車スペース
を増設しました。
ご来荘の際は是非ご
利用下さい。



中庭に園芸用の畑を設置しました。

地域密着型介護老人福祉施設
サテライト函館百楽園建設に
伴い、園芸クラブで使用して
いた畑を永楽荘中庭に移動し
ました。来年春からは新しい
畑で活動をしていきたいと思
います。



 編集
後記

今年は3人娘の2番目がスキーデビュー2年目です。早く練習へ行きたい娘を横目に私は天気予報の確認と体調管理の徹底に心掛けています。皆様におきましても体調管理をしっかりと行っていきましょう。今年度2回目の広報誌を皆様にお届けいたします。これからもたくさんの方に喜んでいただける「やすらぎ」の発刊に努めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

介護員 谷川 真一